

歴史探求と地域学習の拠点が誕生！ 博物館交流ひろば

毎週土・日曜日、祝日には、
博物館1階で多彩なイベントを開催します。

楽しむ、つくる

歴史や文化にちなんだミニ工作や、手軽に体験できる自由参加のワークショップなどを開催します。

聞く、感じる

「わかりやすい歴史と地域のおはなし」や、当館学芸員によるマニアックトークなどで、歴史や地域のトピックをユニークな視点で取り上げていきます。

見つける、出かける

新たな博物館は、静岡の歴史・地域探訪の情報拠点を目指します！市内で行われる旬のイベント、見どころなどをご案内する市民歴史観光コンシェルジュを配置するほか、博物館から市内各地を巡る「しずれきガイドツアー」も随時開催します。(2022年10月から実施予定)
遺構の見どころミニ解説や、館内をご案内するミニガイドウォークも、週末に随時実施します。

そのほか

- 子供向けの歴史入門図書を揃えた図書コーナー
- 学びながら、来館者との交流を楽しめるボランティア活動
- ミュージアムショップ、カフェも営業します
(2023年1月オープン予定)



左：ガクガクと曲がる駿府城下町の道筋を、建物の形(雁行配置)で表現しました。
右上：1階フロアの天井は、静岡市産材をふんだんに使った格子張りです。
右下：木枠でつくられた窓は、昔ながらの日本家屋によく見られた縁側をイメージしています。

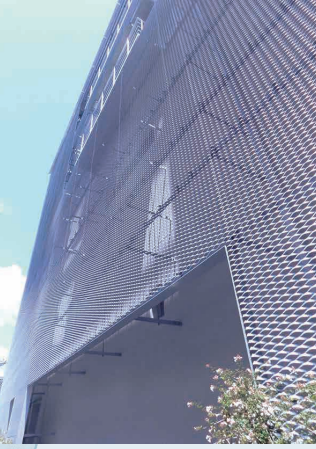


静岡市歴史博物館

令和4年(2022)7月、プレオープンを迎えた新たな歴史博物館。
内外の様子をご紹介します。

展望回廊

建物から飛び出した特徴ある展望回廊。駿府城二ノ丸堀や富士山を望むことができるビューポイント。



エキスパンドメタル

建物の外壁は、網目状のパネルで包み込まれており、見る位置によって様々な表情を浮かべます。

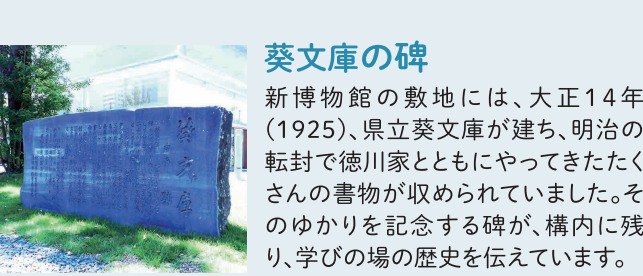


講座室

最大60人収容できる講座室。講座の会場として利用されるほか、一般の利用にも貸し出されます。(有料)

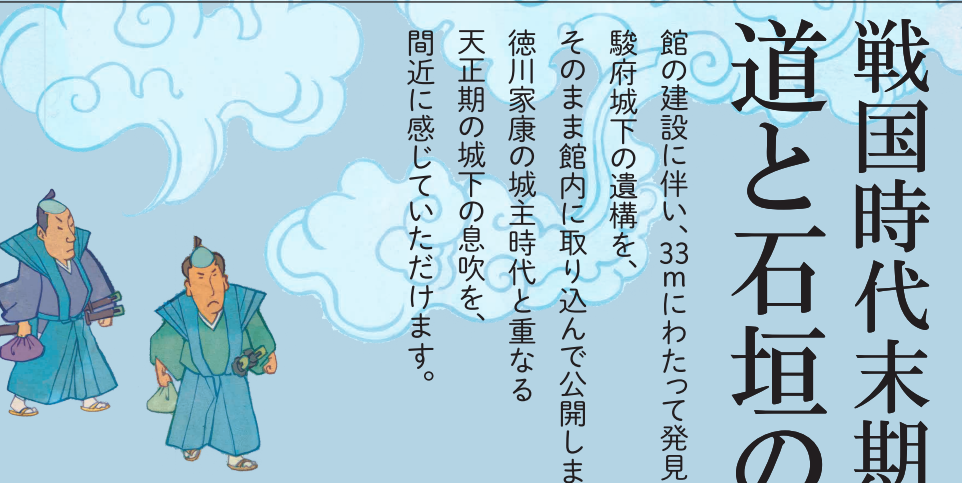
学習支援／市民活動スペース

ワークショップなどの会場、また市民活動の発表の場として活用します。子ども向けの歴史図書なども揃い、自由に閲覧できます。



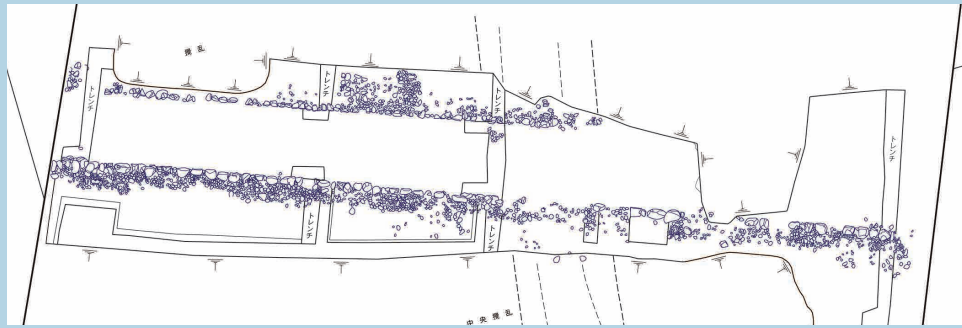
葵文庫の碑

新博物館の敷地には、大正14年(1925)、県立葵文庫が建ち、明治の転封で徳川家とともにやってきたたくさんの書物が収められていました。そのゆかりを記念する碑が、構内に残り、学びの場の歴史を伝えています。



家康も歩いた!? 戦国の道

徳川家康が駿府城主だった、戦国時代末期(天正期)に造られた、本物の「戦国時代の道」です。博物館の建設に先立つ調査で発見されました。当時この場所は、城の大手(正面)のすぐ外側に当たる場所。重臣クラスの武家屋敷があったのかもしれませんが、もしかしたら、家康が歩いたかも!?



静岡市教育委員会「静岡市埋蔵文化財調査報告 駿府城三の丸」(2021)より

超レア! 幸運な発見

戦国時代の道の遺構は、全国的にも大変珍しい発見です。静岡のような城下町では、建物や道筋が何度も移り変わり、こうした遺構はほとんど残っていません。この場所も城代屋敷や図書館、小学校など様々な利用を経てきましたが、幸運にも壊されることなく残っていたのです。

野心的な「屋内展示」

家康時代の駿府城下の姿を伝えるまたとない資料として、33mにわたる遺構全体を屋内に取り込み、空調、日光などに配慮しながら、無料公開します。戦国の息吹を感じながら、さあ、あなたの歴史探求をスタート!

静岡市歴史博物館 プレ広報誌 三の巻

未来へ向かう歴史博物館



令和4年7月23日 プレオープン
同9月末まで/土・日曜日及び祝日に開館
10月1日より/休館日をのぞく毎日開館
★各日9時～18時 1階無料エリアを公開
令和5年1月 グランドオープン!

プレオープン記念事業 (パネル展)

静岡市歴史博物館ができるまで

令和4年 7月23日(土)～10月2日(日) 観覧無料



新たな歴史博物館がプレオープンを迎えるまでの歩みをご紹介します。昭和50年(1975)から令和3年(2021)まで静岡浅間神社境内に開館していた「静岡市文化財資料館」の足跡をはじめ、その役割を引き継いだ新博物館の基本構想・建物の設計コンセプト、「道と石垣の遺構」発見による計画変更の経緯をパネルにまとめたほか、グランドオープン後に公開される基本展示の構成についても、資料の調査・収集や精密な複製製作など、多くの人が関わって完成を目指すプロセスを紹介しています。

博物館のまわりには、歴史を感じるところが、いっぱい



静岡市歴史博物館プレ広報誌 三の巻 発行日：令和4年7月

静岡市歴史博物館

〒420-0853 静岡市葵区追手町4番16号 TEL：054-204-1005 FAX：054-204-7373

ホームページ：https://scmh.jp

制作：公益財団法人静岡市文化振興財団 発行：静岡市観光交流文化局歴史文化課